

かれい

嘉例のながれ

江迎小学校 学校だより

平成29年度 第9号

平成29年6月30日（金）発行

文責：校長 立木 昭夫

今日で、6月が終了。一ヶ月間、力を入れて、「いのち」について考えてきた「いのちを見つめる強調月間」も今日で終了です。でも、今後も「いのち」について、「自分を大切にすること」について、「周りの人を大切にすること」については、ずっとずっと考えていかなければならないことです。

明日からは、7月に入ります。学校では、夏休み前の学習のラストスパートに入ります。

<「教育週間」のご来校ありがとうございました！>

6月19日（月）から23日（金）は、「江小っ子の心を見つめる教育週間」でたくさんの保護者の方、地域の皆様にご来校いただきました。特に授業参観として行った「道徳授業一斉公開」には、ほとんどの保護者の方にご参観いただき、子供たちと一緒に「いのちの大切さ」について考えていただきました。たいへんありがとうございました。その後、担任ともお話しいただいたり、学校の方へお電話で感想や課題を伝えていただいたり、多くの反響がありました。学校は、今、よいところも悪いところもオープンにして、保護者、地域の方と協働して子供たちの育成に当たるスタンスで教育活動を展開しています。



今後も多くのご意見をいただき、ともに子供たちの成長を支えていただきたいと思います。

<平和集会での校長講話>

本日6月29日は、72年前に佐世保空襲があった日です。朝、全校児童が集まって平和集会を行いました。そのなかで、「普通のこと」をキーワードに、戦争と平和について講話をしました。全文を掲載します。ご家庭でも話題にしていいただければ幸いです。

「戦争の時は、悲しく恐ろしいことが“普通のこと”」

おはようございます。今日は、平和集会です。校長先生から戦争と平和についてお話をします。今日のお話のキーワードは、「普通のこと」です。この言葉に注意して聞いてください。

昭和20年6月28日の夜11時50分から翌29日深夜2時頃まで、佐世保の町がアメリカ軍のB29という飛行機によって空襲されました。今から72年前の今日のことで、空襲とは、大きな飛行機が焼夷弾という燃える火をまき散らす爆弾を家の集まっているところにたくさん落として町を焼け野原にすることです。今の四ヶ町、三ヶ町アーケードがあるところを中心に、一万二千戸以上の家が焼け、千二百人以上の人が亡くなりました。その日は、梅雨の最中で雨が降っていて、「今日は来ないだろう」という、市民が思っ

でもない不意をつく深夜の空襲だったのです。

戦争というのは、思ってもいないことが普通に起ってしまうたいへん悲しく恐ろしいものなのです。

校長先生のお父さんは、82歳になります。子供の頃から何度も聞かされた話があります。それは、佐世保空襲の様子です。72年前ですから、佐世保空襲は10歳の時、5年生だったそうです。家は町から離れた山の上にあり、大きな音で目を覚まして、そとに出てみると、目の前が昼間のようによく、たくさんの火の粉が佐世保の町に降り注いでいたそうです。遠くから見るととてもきれいだったそうです。でもその下では、千二百人もの命がたった2時間足らずで消えていたのです。普通の日が、普通に、普通ではない日になったのです。



そんなお父さんのお父さん、つまり校長先生のお祖父さんは、フィリピンのルソン島というところに戦争に行っていました。昭和20年の1月から上陸してきたアメリカ軍と戦って、戦死しています。だから、校長先生のお父さんは、佐世保空襲の時には、もう父親をなくしてしまっていたのです。50歳になったとき、父親が戦死したルソン島に行ったそうですが、亡くなったのが何月何日、どこでなのかは、はっきりわからなかったそうです。それが、普通なのです。お墓はつくりましたが、遺骨などありません。だから、校長先生はお祖父さんにあったこともありません。

そんな普通にあった戦争での悲しいできごとが、「戦争と平和のものがたり」というこの本の中にいくつも書かれています。日本で普通にあったことです。読んでみてください。

また、世界に目を向けてみると、今でも普通に悲しく恐ろしい戦争が行なわれています。シリアのこと、イラクのこと、アフガニスタンのこと、フランスやイギリスのテロのこと、南スーダンの内戦のことなど、そこでいったい何人の人が命をなくしているのか、どんなつらい目にあっているのか、どんなくらしをしているのか。よその国で起こっている遠い出来事で、なかなか私たちには実感がわきませんが、これも普通に起っている悲しく恐ろしい出来事なのです。

考えてみてください。今は平和が普通ですが、こんな戦争が普通に起ったらどうでしょうか。考えられないですね。でも、あの佐世保空襲の日も今日そうなるとは考えられなかったのです。戦争というものはそういうものです。

でも、戦争が普通だなんて絶対にあってはなりません。戦争を起こさないためには、本を読んだり、話を聞いたりして、戦争が普通だったころの悲しく恐ろしいことをしっかり学んで賢くならなければなりません。そして、自分を大事にすること、人を思いやり大切にするのを心から願えるようにならなければなりません。

江迎小学校の186人のみなさんが、そうなるようしっかりと学習していきましょう。

7月の行事予定

＜前号記載のうち主なものの確認＞

- 2日(日) 市P連北部ブロック球技インディアカ大会(8:30受付・中里中学校)
- 6日(木) 地区懇談会(19:00～所定の地区公民館)
- 14日(金) 水泳授業参観(2校時:3,4年、3校時:1年、4校時:2年、5校時:5,6年)
- 20日(木) 授業終了日、集団下校